

令和5年(2023年)度年間授業計画表									
学年	2年	科・系	生物生産科	単位	2	教科	農業	科目	畜産
使用教材	教科書: 畜産(実教出版株式会社)								
学習目標	① 家畜の飼育と畜産経営について体型的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ② 家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
単元と内容									
1学期	1. 家畜の飼育 養鶏について 牛の見方について 実習 (一般管理、乾草調製等)				畜産とはどのような産業であるのかを理解する。 ニワトリの飼養管理、生産技術を習得する。 家畜審査競技と関連して、牛の体型審査について理解する。				
2学期	2. 日本の畜産の特徴と役割 3. 家畜の生理・生態と飼育環境 4. 家畜と飼料 実習 (一般管理、乾草調製・収納、敷料収納等)				日本の畜産業の特徴を知り、現状や需要の動向について理解する。 家畜の病気や衛生管理について理解し、家畜の生理生態に応じた飼養環境を整えることができる。 主な飼料について、その特性を理解するとともに、畜種に応じた給与体系を考えることができる。				
3学期	5. 家畜糞尿の処理と有効活用 実習(一般管理等、雪囲い)				糞尿処理について、その方法や処理後の活用について理解するとともに、関連する環境問題について対策を考えることができる。 プロジェクト学習のまとめにより、1年間の振り返りを行うとともに来年度の飼養管理について考えることができる。				
評価									
評価の観点			評価の趣旨						
①	知識・技術		家畜の生理生態を理解し、畜産物の生産方法や飼養管理作業を理解している。						
②	思考・判断・表現		家畜の状況に応じて、適切な飼養管理作業を行い、飼養環境を整えることができる。						
③	主体的に学習に取り組む態度		畜産業が抱える課題を解決すべく、地域の畜産現場にも目を向けながら日々の学習を主体的に学ぶことができています。						
評価方法	①		②		③		年間時数		
							予定		
	定期テスト 実習記録シート 観察(授業態度)		定期テスト 実習記録シート プロジェクト活動の発表と報告書 観察(授業態度)		定期テスト レポート プロジェクト活動の発表 観察(授業態度)		65時間		
							1単位=35H		
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献							